			Speaking		
	Listening	Reading	やりとり 発表		Writing
6年	ゆっくりはっきりと話されれば を 生の プロール で を 生の プロール で で れば を 生の で で れば を で で れがで で ない で で れがで き ない で い で い の で し れば で し か で い の で し い で で し い で で し ま かい で い で で で で は で で 地 な 話 で る に 具 が で 地 な 話 で で で で で で で で で で で は で で な で は で で な で は で で な で に ま る こ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	イ 地球の生き物や食生活などについて,音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を,絵本などの中から識別することができる。	て,それらに応じたり断 ったりすることができ る。	意なことなど、日常生活 に関する身上ができる。 イ 夏休みの思い出やこの 夢など、自分のことができる。 イ の夢など、自分のことで を整理したうえで、表 でを整理したうえで、表 で、表 を用いて、話すことができる。	身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親 しんだ基本的な表現を書 き写すことができる。
Unit			-		
1	OF		<u> </u>	OF	
3	Oイ Oウ		Oウ Oア、ウ		
4			01	O1	
5	Оċ	01			O7
6 7		01	01	Oウ	01
8			U1	01	01 01
	ゆっくりはっきりと話され	ア 活字体で書かれた文字	ア 挨拶を交わしたり道案	ア 曜日や教科、職業」な	ア 文字の読み方が発音さ
5年	れば, ア 好きなものや名前のつ づり,誕生日など身近で 簡単な事柄について,簡 単な語句や基本的な表現 を聞いて,それが何かを	を見て、どの文字であるかや、その文字が大名か であるか小文字である方を 識切に発音することができる。 イ 音声で十分に慣れ親し んだ簡単な語句や基ットなどの中から識別することができる。	内をしたりして,相手に 指示や依頼をしたり,そ れらに応じたりすること ができる。	ど、で、 で、 で、 でで、 でで、 でで、 でで、 ので、 ので	れるのを聞いて, 活字体 の大文字, 小文字を書く ことができる。
5年 Unit	れば、ア が 簡 現を これで 簡 現を これば、 が り 単な語い 取案 目 いると で 語 現 説 ない こと を は いっこ で 簡 現 を る な る な る な る な る かな に 具 が な に 基 短 ス し 要 を は で が な に 基 短 ス し 要 を が な に 基 短 ス し 要 を が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 本 な を な る な る な る 身 て な 話 写 ら え を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 の ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど い か ら え と で と が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に ま で と が な に す と か と か と か と で な ま で と が な に す と か と か と か と か と か と か と か と か と か と	を見て、どの文字である字で大きの文字である字で大きなからし、そうまである方がである。 ままで 十分に 慣れ 基本 リーム がまま いっことができる。 かい などの ない いっことができる。	内指いでは、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	と 大自伝整なをで、や近内、ないますという。 人自伝整なをで、やこなえ理者はいるがらたやて、がはながらたやて、がはながらたやで、がが自かのよし句いる続き簡、を分えているで、は、ではとう気がのととう基、 は、つすえ持ではない 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	れるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書くことができる。 イ 相手に伝えるなどの目的をもって、あこがれの人などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を
5年 Unit 1	れば、ア が簡単を聞き返れているで、	を見て、どの文字であるかや、その文字が大名か であるか小文字である方を 識切に発音することができる。 イ 音声で十分に慣れ親し んだ簡単な語句や基ットなどの中から識別することができる。	内指いでは、で、では、で、では、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	と 大自伝整なをで、や近内、ないますという。 人自伝整なをで、やこなえ理者はいるがらたやて、がはながらたやて、がはながらたやで、がが自かのよし句いる続き簡、を分えているで、は、ではとう気がのととう基、 は、つすえ持ではない 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	れるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書くことができる。 イ 相手に伝えるなどの目的をもって、あこがれの人などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を
5年 Unit	れば、ア が 簡 現を これで 簡 現を これば、 が り 単な語い 取案 目 いると で 語 現 説 ない こと を は いっこ で 簡 現 を る な る な る な る な る かな に 具 が な に 基 短 ス し 要 を は で が な に 基 短 ス し 要 を が な に 基 短 ス し 要 を が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 本 な を な る な る な る 身 て な 話 写 ら え を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 の ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 基 短 ス し 要 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど い か ら え と で と が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で ど が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に 本 を ま で と が な に ま で と が な に す と か と か と か と で な ま で と が な に す と か と か と か と か と か と か と か と か と か と	を見て、どの文字である字である字であるとかれ、その文字である方をである方をである。	内指いでは、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	と 大自伝整なをで、や近内、ないますという。 人自伝整なをで、やこなえ理者はいるがらたやて、がはながらたやて、がはながらたやで、がが自かのよし句いる続き簡、を分えているで、は、ではとう気がのととう基、 いっすえはでいるでがは、 ないとう気がはないので、 ないにとう気がは、 でででないないないが、 ないにとう気がまりという。 かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	れるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書くことができる。 イ 相手に伝えるなどの目的をもって、あこがれの人などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を
5年 旧加it 1 2	れば、ア が簡単を聞き返れているで、	を見て、どの文字である字で大きの文字である字で大きなからし、そうまである方がである。 ままで 十分に 慣れ 基本 リーム がまま いっことができる。 かい などの ない いっことができる。	内指いでは、で、では、で、では、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	とがいうないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きができる。 かんしょう しょう しょう しょう はい しょう はい しょう はい	れるのを聞いて、活字体の大文字、する。 イ 相手に伝えるなどの目的をもって、かなどに、音をもって、ができる。 人などについて、音をを表したができる。 を考にしただできる。
5年 1 2 3 4 5	れば、ア もの という	を見て、どの文字である字である字であるとかれ、その文字である方をである方をである。	内指示的では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ど近とがのよし句になる。 日簡できがのととうまれる。がのととうもです。 にある。こがないのでするでがのととなったやで、のでが、のととうがのよりでするであれているである。 でではいるでは、ないででででででででです。 一でででは、というでは、というでは、ないででできる。 ででででできる。 ででででできる。 でででででできる。 ででででできる。 ででででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。	れるのを聞いて、活字体の大文字、する。 イ 相手に伝えるなどの目的をもって、かなどに、音をもって、ができる。 人などについて、音をを表したができる。 を考にしただできる。
5年 1 2 3 4 5 6	れば、ア が	を見て、どの文字であるかや、その文字であるか、その文字であるかを識別し、そのでであるを適切に発音することができる。 イ 音簡単ないのでであるができる。 イ おいまでは、パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内指いでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ど近とがのよし句になる。 日簡できがのととうまれる。がのととうもです。 にある。こがないのでするでがのととなったやで、のでが、のととうがのよりでするであれているである。 でではいるでは、ないででででででででです。 一でででは、というでは、というでは、ないででできる。 ででででできる。 ででででできる。 でででででできる。 ででででできる。 ででででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。	れるのを聞いて、活字体の大文字、する。 イ 相手に伝えるなどの目的をもって、かなどに、音をもって、ができる。 人などについて、音をを表したができる。 を考にしただできる。
5年 1 2 3 4 5	れば、ア もの という	を見て、どの文字である字である字であるとかれ、その文字である方をである方をである。	内指示的では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ど近とがのよし句になる。 日簡できがのととうまれる。がのととうもです。 にある。こがないのでするでがのととなったやで、のでが、のととうがのよりでするであれているである。 でではいるでは、ないででででででででです。 一でででは、というでは、というでは、ないででできる。 ででででできる。 ででででできる。 でででででできる。 ででででできる。 ででででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。	れるのを聞いて、活字体の大文字、する。 イ 相手に伝えるなどの目的をもって、かなどに、音をもって、ができる。 人などについて、音をを表したができる。 を考にしただできる。